

都筑区社会福祉協議会はボランティア活動を応援しています!!

ボランティアグループ華の会が 厚生労働大臣表彰を受賞しました。

ボランティアグループ華の会は、地域の会食会や、近隣の障害者グループホームでの食事づくりなど、平成4年から活動されています。

長年にわたる活動が認められ、昨年11月に厚生労働大臣表彰が授与されました。

会食会は、地域の方々にとって、身近なほっとする大切な居場所となっています。



▲ 華の会のみなさん。受賞おめでとうございます!

やってみませんか? ガイドボランティア

Sさん(写真右)は、知的障害のあるYさん(同左)の散歩の付添ボランティアをしています。「じっとしてるのが苦手で」と笑うSさん。昨春の自粛期間中は散歩も見合わせていましたが、「あまり感情を出さないYさんが、数カ月ぶりに再会したときは声を出して喜んでくれたの。私も嬉しかった!」とのお話を伺いました。



※ガイドボランティア…障害のある方の外出に付き添うボランティア。通学・通所・余暇などの外出を、ボランティアのみなさんに支援していただいています。

善意銀行のご案内

善意銀行とは、都筑区社会福祉協議会で預かりした善意の寄付を、障害当事者団体やボランティア団体などへ配分する事業です。配分を通して、寄付者の善意の気持ちをお届けし、地域の福祉保健活動を応援しています。

今年度は、マスクや消毒液、お米などの物品も数多くお寄せいただきました。

善意銀行にご寄付いただいたみなさま (50音順・敬称略) 令和2年2月1日～令和3年1月31日 受付分

【個人】
笠屋 昭雄 上村 正吉 杉田 文江 高原 良祐 武田 マス子 府川 好夫
若林 倫太郎 匿名(3名)

寄付者の上村正吉さん。都筑区制以前から、毎年ご寄付をいただいています。本当にありがとうございます!



【団体】
イトーヨーカドー労働組合らぽーと横浜支部 織茂養鶏場
京セラ(株)横浜事業所 社員一同 京セラ労働組合 横浜支部
都筑区スポーツダンス協会 平本養鶏場
ふれあい朝市第2 ポッシュ(株)マネージャーズクラブ コスモス会
マルイファーム ヤマガキ製パン従業員組合神奈川支部 匿名(3団体)

善意銀行に物品をご提供いただいたみなさま (50音順・敬称略) 令和2年2月1日～令和3年1月31日 受付分

【個人】
小野 義貴 岸 操 久保岡 愛 齋藤 健一 高松 健三 匿名(2名)

【団体】
アムスキャン・ジャパン F&C (株) イケア・ジャパン(株) IKEA 港北 (株)運動会屋
第一生命(株)新横浜支社 中山ブロック 都筑保護司会 都筑区更生保護女性会
メイドインつづき参加企業有志・NPO 法人こども応援ネットワーク Y&I Group (株)

お預かりしたご寄付は、都筑区内の福祉保健活動に活用されています。あたたかいお気持ち、まことにありがとうございました。

正会員募集 一緒に地域福祉を考えましょう。

「社会福祉協議会」とは、地域で活動する様々な福祉関係団体(ボランティアグループや障害当事者団体、地域組織など)が会員として参加し、よりよい地域福祉保健活動を共に考え、活動する組織です。

会員になると、他の会員との情報交換や、地域福祉推進のための話し合いの場に参加できるほか、会員向け研修会(1面参照)や、善意銀行配分などの活動支援を受けることができます。

【年会費】

- 第1種会員(福祉施設など): 10,000円/年
- 第3種~7種会員(ボランティアグループ・障害者団体・NPOなど) 5,000円/年
- *第2種は民生委員児童委員

入会方法など詳しくはお問合せください。

この広報紙は共同募金配分金で発行しています。



都筑区社協だより

No.56

社会福祉法人 横浜市都筑区社会福祉協議会
〒224-0006 横浜市都筑区荏田東 4-10-3
港北ニュータウンまちづくり館内

TEL 045-943-4058 FAX 045-943-1863
HP <http://www.tuzuki-shakyo.jp>
Mail info@tuzuki-shakyo.jp

しゅんらん

*シュンランは、この地にたくさん自生しています。春には甘い香りのするかわいい花をつけ、子どもの遊び友達だったそうです。このようにやさしい福祉の町ができればいいなと思いこの名前をつけました。

令和3年3月発行

都筑区社協は、「あなたと街のかけはし」になります!

「社会福祉協議会」は、社会福祉法に定められた地域福祉の推進を図ることを目的に組織された民間団体で、その目的にそった事業を展開し、みなさまの地域福祉活動の支援をしています。

Withコロナの地域活動 ~つながりや見守りを絶やさないために~

新型コロナウイルス感染症という誰も経験したことの無い状況の中ですが、人と人とのつながりとぎれることのないよう、感染防止策を実施したうえで、できることの模索が続いています。

都筑区社協の取組

都筑区社協会員研修 Withコロナ時代の地域活動の進め方

横浜市都筑区医師会 副会長の小林雅子医師を講師に迎え、12月3日に「withコロナ時代の地域活動の進め方」研修を実施しました。小林先生からは、「コロナを正しく理解し、正しく怖がってください。地域活動を止めてしまうことで、高齢者の体力低下等のリスクもあるため、『新しい生活様式の実践例』等を参考にしながら活動を続けていくことが大切です」とのご講義をいただきました。参加した皆様からは、コロナ禍において活動する上で、力強い後押しとなったとの感想をいただきました。



ボランティア交流会 新たなボランティアのあり方とは? ~コロナをきっかけに考える『やりたいこと』~

コロナ禍の中、ボランティア団体から多くの悩みが寄せられています。そこで、11月11日に区社協会員のボランティア交流会を開催。地域のつながりを途切れさせず、活動を継続・発展させるための視点や工夫について、ダイヤ高齢社会研究財団 主任研究員 澤岡詩野先生からお話を伺いました。

活動の形は変わっても、「いつもの、あの人」と「つながり続けることの大切さ」について学び、参加者の方より「今までの活動は間違っていなかった」「まだまだできそうなことがある」と前向きなご意見をいただきました。



地域での取組

荏田南地区認知症&予防カフェ ほほえみ交流カフェ

認知症の方やそのご家族、認知症を予防したい方など、誰でも参加・交流できる場を、ボランティアが運営しています。集まるときは集まったり、緊急事態宣言中は休会したり、柔軟に対応しています。

開催時は、時間を短縮し会場も2部屋用意。テーブルを囲んでお茶会というスタイルから、椅子だけで距離をとって座るように変更しました。外出が不安な方は、リモートで参加も可能です。「顔を見て話せるのが何より嬉しい」と、喜びの声が寄せられています。



とまとのおうち

発達や知的に障害のある子どもたち約30名が、音楽療法・リトミック・水泳・体操などを行っています。家族が運営する自主グループです。

会場の臨時休館中はリモートを活用。集まるときは、少人数のグループ分けをして短時間で、また1グループごとに部屋を消毒などの対策をしています。

「実際に会うと、アイコンタクトしたり、音の振動を感じたり、コミュニケーションが豊かになる」「顔を見るとほっとする。仲間がいるってありがたい」とのお話を伺いました。



あなたの身近の！ 地区社会福祉協議会



イチオシ活動の紹介

地区社会福祉協議会(地区社協)とは、地域住民に最も身近な社協として、地域の方々の「自分たちの地域は自分たちでよくしていこう」という気持ちで組織された任意の団体です。区民の方々より寄せられた賛助会費や共同募金も活動の一助として役立てられています。都筑区では連合町内会単位で15の地区社協が活動をしています。今回は4地区が取り組むイチオシの活動をご紹介します。

*写真は昨年度のものもあります。

かちだ地区社協 かちだ地区おもいやりネットワーク連絡会

この活動は、高齢者が多い勝田団地で、孤立することなく、お互いが支えあいながら安心して元気に暮らすために立ち上げました。

一人暮らしの高齢者が自宅で倒れる等の緊急時に備えた「緊急連絡先カード」や、何日も電灯がついていない家がないかを見守る「ライト運動」、誰もが気軽に立ち寄れる「サロン」など、「めくばり・きくばり・おもいやり」を合言葉に地域で支えあう取り組みを行っています。



新栄早淵地区 コロナ禍での歌声喫茶ゆいび〜開催

すっかり地域に定着したイベントながら、開催見合わせが続いていた歌声喫茶。初めて小学校体育館を借り、感染防止に充分配慮し、特別企画として11/23に開催！終了後のアンケートでは自粛生活での鬱々とした気持ちや、ゆいび〜の再開を喜ぶ声が多数寄せられました。

高齢者からの生の声には、不安のなか準備をしたスタッフは安堵し、また、その声と出演者・スタッフ一人ひとりの工夫と協力で開催することができたと、改めて事業の意義深さを噛み締めました。ご協力頂き皆様に心から感謝致します。



都田地区 みやこちゃん誕生!!

都田地区では、都筑区地域福祉保健計画の地区別計画の取組として、3つのテーマを軸とした分科会を行っており、地区社協も計画の推進・策定にかかわっています。テーマの1つに『見守り支えあい』があり、「“都田”ってあったかいじゃん」というスローガンを掲げ、地域に馴染んでいけるようオリジナルキャラクターを作成しました。そして、この12月にとうとう着ぐるみが誕生！その名も「小松菜 hair のみやこちゃん」今後は地域活動やイベントに参加して、地域の発展を応援していきます。



佐江戸加賀原地区社協 みんなで支え合えるまちづくり

年2回、高齢者世帯等の見守り訪問を行っています。真夏と冬の年越し時期に行う安否確認です。皆さんにはサロン等の集いの場や、ちょっとしたお困りごとを解決する「ちょこっとボランティア」などの地域活動をご案内するなど、誰もが孤立せず相談し、支え合えるまちに向けて取り組んでいます。

訪問時には災害時の備えになるグッズをお届けしています。今年度は、夏はマスク、冬は携帯用の消毒液をご用意し、大変喜んでいただきました。



共同募金運動にご協力をいただきありがとうございました。



新型コロナウイルスの影響が続く中、今年度の共同募金運動は「つながりをたやさない社会づくり」を全国共通テーマに掲げて取組を行いました。区内においては、自治会町内会の皆さまによる戸別募金をはじめ、企業の皆さまによる法人募金や職域募金、民生委員児童委員協議会の皆さまや地域福祉保健団体による街頭募金など、さまざまな場面でご協力をいただきました。まことにありがとうございました。



○地元企業のみなさまに募金箱設置のご協力をいただきました。(順不同・敬称略)

- ・区内郵便局(14か所)
- ・株式会社 司興業
- ・株式会社 横濱もみじ動物病院
- ・食い処・飲み処 源八
- ・健湧接骨院
- ・株式会社 アクティブコレクション
- ・デイリーヤマザキニュータウン加賀原店
- ・横浜ビー・コルセアーズ



○感染予防の取組

街頭での呼びかけの際は、飛沫防止ためマスクを着用し、代わりにパネルやラジカセなどを利用してPRを行いました。そのほか、手袋の着用や実施前後の消毒などにより感染予防に努め実施しました。



募金額は、令和3年1月末現在で 15,380,566 円にもなりました。

お寄せいただいた募金は都筑区及び神奈川県内の福祉保健活動のために使用させていただきます。

年末たすけあい募金で食支援を実施しました。

区内にお住まいで、新型コロナウイルスの影響により食にお困りのひとり親世帯などを対象に食支援を実施しました。

食品は、年末たすけあい募金で購入したものの他、この取組にご賛同いただいたフードバンクかながわ様やIKEA 港北様からの寄付物品をお届けしました。



都筑区にお住まいで、新型コロナウイルスの影響により、食にお困りのひとり親世帯などへ、食料品をお届けします。【無料】